



平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 M - ツナグS

上場取引所 東

コード番号 6551 URL <https://www.tsunagu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 光宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 片岡 伸一郎 TEL 050-3816-5566

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	5,204		264		244		125	
28年9月期第3四半期								

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 125百万円 (%) 28年9月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	60.47	57.02
28年9月期第3四半期		

(注) 1 平成28年9月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年9月期第3四半期の数値及び平成29年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2 当社は平成29年6月30日に東京証券取引所マザーズ市場へ上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
29年9月期第3四半期	2,642		1,077		40.8
28年9月期	2,077		423		20.4

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 1,077百万円 28年9月期 423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		0.00		0.00	0.00
29年9月期		0.00			
29年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,388	25.6	292	27.0	269	20.1	120	12.3	56.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	2,340,000 株	28年9月期	69,000 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	株	28年9月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	2,071,978 株	28年9月期3Q	69,000 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予測などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかではありますが、雇用・所得環境の改善が続き、引き続き景気回復基調で推移しました。一方で、世界経済は、新興国経済や欧米の政策動向等の影響等により、先行きは不透明な状態にあります。また、国内の雇用情勢においては、企業の採用意欲は引き続き活発であり平成29年6月の有効求人倍率は1.51倍(厚生労働省発表)となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、業績が好調に推移し、特に人材サービス事業セグメントにおいては、主力のアルバイト・パートのアウトソーシング領域が大きく伸張しました。また、メディアサービス事業セグメントについても、新規サービスへの注力等が功を奏し、堅調に推移しました。

これらの取組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,204,707千円、営業利益264,859千円、経常利益244,917千円、親会社株主に帰属する四半期純利益125,287千円となりました。

当社グループの各セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(人材サービス事業)

人材サービス事業におきましては、アルバイト・パート中心の採用コンサルティングならびに採用代行業務を行うアウトソーシング領域と、イベントや求人原稿制作の受託業務を行う業務代行領域、人材派遣関連のビジネスや従業員の定着支援等を行うその他領域がございます。

アウトソーシング領域では、景気回復に伴う採用ニーズの高まりとアルバイト・パートの人手不足、さらには、過重労働対策としてのアウトソーシングニーズの増加を背景に、大手企業、特に、コンビニ業界や自動車業界等を中心とした既存顧客の売上増に加えて、新規取引顧客も増加しております。

業務代行領域においては、求人原稿制作代行、イベントの受託ともに、収益性の向上を重視した結果、前年実績を下回っているものの、当初計画通りに推移しました。

その他領域では、コンビニへのスタッフ派遣を行う株式会社スタッフサポーターが、新たに東京にて営業を開始する等、業容の拡大を図っています。

これらの結果、人材サービス事業における売上高は3,603,118千円、営業利益は145,531千円となりました。

(メディアサービス事業)

メディアサービス事業におきましては、株式会社インディバルを通じて、アルバイト・パートを中心とする求人メディアの運営等を行っています。

主要なアルバイト向け採用サイトである「ショットワークス」「シフトワークス」については、ほぼ前年並みで堅調に推移しましたが、その派生サービスである「ショットワークスコンビニ(コンビニ業界向け短期バイトサイト)」「ニホンDEバイト(外国人留学生向けアルバイトサイト)」が伸び、全体の成長を支えました。一方で、正社員向け採用の新たなサービスである「ダイレクトマッチング」についても、大手クライアントの獲得が進み、大きく業績寄与しました。その他のサービスにおいても、事業拡大と収益向上に努めた結果、メディアサービス事業における売上高は997,649千円、営業利益は118,844千円となりました。

(リテールサービス事業)

リテールサービス事業におきましては、株式会社チャンスクリエイターにてコンビニエンスストアを計3店舗運営しております。店舗販売実績は、いずれも前年を若干超えて推移しています。

スタッフのシフトマネジメントや人員充足のための派遣費用の適正化などが課題でしたが、順調に赤字幅は縮小し、平成29年3月、4月については、黒字化を達成しました。しかしながら、平成29年2月までの累積損失もあったため、結果として、売上高は603,940千円、営業損失は16,041千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ565,563千円増加し、2,642,938千円となりました。これは主に現金及び預金が538,325千円増加したことや受取手形及び売掛金が11,114千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末比べ88,816千円減少し、1,565,125千円となりました。これは主に長期借入金が112,589千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比べ654,379千円増加し、1,077,813千円となりました。これは主に公募増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ264,546千円増加したことや利益剰余金が125,287千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月30日付けで開示いたしました「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照下さい。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想と異なる場合があります。

1. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	549,966	1,088,291
受取手形及び売掛金	589,189	600,304
商品	17,365	18,010
仕掛品	7,307	3,331
繰延税金資産	51,312	21,861
その他	102,260	161,566
貸倒引当金	△1,283	△2,326
流動資産合計	1,316,118	1,891,039
固定資産		
有形固定資産	132,921	122,772
無形固定資産		
ソフトウェア	170,485	196,794
のれん	202,230	158,895
その他	1,003	243
無形固定資産合計	373,719	355,932
投資その他の資産		
敷金及び保証金	114,852	144,965
繰延税金資産	117,636	97,178
その他	22,782	31,730
貸倒引当金	△656	△680
投資その他の資産合計	254,615	273,193
固定資産合計	761,256	751,898
資産合計	2,077,375	2,642,938

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,136	180,238
短期借入金	264,851	392,956
1年内返済予定の長期借入金	126,428	106,556
未払金	144,216	186,149
未払費用	125,580	144,097
未払法人税等	106,424	23,256
賞与引当金	98,395	44,948
その他	128,524	125,068
流動負債合計	1,187,556	1,203,272
固定負債		
長期借入金	447,406	354,689
その他	18,978	7,163
固定負債合計	466,384	361,852
負債合計	1,653,941	1,565,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	180,000	444,546
資本剰余金	—	264,546
利益剰余金	243,433	368,721
株主資本合計	423,433	1,077,813
純資産合計	423,433	1,077,813
負債純資産合計	2,077,375	2,642,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,204,707
売上原価	3,185,086
売上総利益	2,019,621
販売費及び一般管理費	1,754,762
営業利益	264,859
営業外収益	
受取利息	13
助成金収入	840
受取手数料	404
その他	610
営業外収益合計	1,868
営業外費用	
支払利息	4,255
株式交付費	4,976
株式上場費用	11,205
その他	1,373
営業外費用合計	21,811
経常利益	244,917
税金等調整前四半期純利益	244,917
法人税、住民税及び事業税	69,720
法人税等調整額	49,909
法人税等合計	119,629
四半期純利益	125,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,287

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	125,287
四半期包括利益	125,287
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	125,287

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月30日を払込期日とする一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式270,000株を発行しました。その結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ264,546千円増加し、当第3四半期連結会計期間末時点の残高は資本金444,546千円、資本剰余金264,546千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	人材 サービス事業	メディア サービス事業	リテール サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,603,118	997,649	603,940	5,204,707	—	5,204,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,623	124,425	15,075	168,124	△168,124	—
計	3,631,741	1,122,075	619,015	5,372,832	△168,124	5,204,707
セグメント利益又は損失 (△)	145,531	118,844	△16,041	248,334	16,525	264,859

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額16,525千円は、セグメント間取引消去16,525千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は平成29年5月26日開催の取締役会において、野村證券株式会社を割当先とする当社普通株式67,500株の第三者割当増資を行う事を決議しており、平成29年7月31日に払込が完了しております。

(1) 募集株式の種類及び数	当社普通株式 67,500株
(2) 割当価格	1株につき 1,959.6円
(3) 資本組入額	1株につき 979.8円
(4) 引受価額の総額	132,273千円
(5) 資本組入額の総額	66,136千円
(6) 払込期日	平成29年7月31日
(7) 割当先	野村證券株式会社
(8) 資金の用途	設備投資、子会社への投融資資金に充当する予定であります。